

書類 番号	17
----------	----

令和7年9月19日

自治会町内会長 様

南区青少年指導員協議会  
会 長 山 崎 直 宏

南区青少年指導員協議会広報紙「みなみ青指だより70号」について（依頼）

時下 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、当協議会の活動について、多大な御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、広報紙「みなみ青指だより70号」を発行いたしました。

つきましては、当協議会の活動について皆様に周知いたしたく、回覧をお願いいたします。

（送付書類・部数）

みなみ青指だより70号 回覧用（班数分）

【問合せ】 南区青少年指導員協議会事務局  
（南区役所地域振興課区民活動推進係内）

担当 古尾谷・今井

TEL 341-1238 ・ FAX 341-1240

# 全市一斉統一行動パトロール(南が丘中学校区)

南が丘中学校区では、令和7年7月28日(月)に南が丘中学校正門に集合し、パトロールを実施しました。

参加者は、地域の安全推進委員の方々、自治会役員の方々、南が丘中学校校長及び先生方、同校PTAの方々。青少年指導員は、山崎会長をはじめ六ツ川地区3名、別所地区2名で総勢17名となりました。

南が丘中学校校長先生の挨拶に続き、同校生徒指導の先生からお話を伺い、19時に正門を出発し、イトーヨーカドー別所店、京浜急行線ガード下、大岡川遊歩道など人の集まりそ



うな場所を注意しながらパトロールを行いました。最後は、上大岡赤い風船のゲームセンターを確認し、パトロールを終了しました。結果として異状や問題はありませんでした。

(松尾)



横浜市青少年指導員  
シンボルマーク



# みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会

南区青指 🔍 検索



区内

## 小学校児童支援専任教諭 中学校生徒指導専任教諭 等との打ち合わせ会

令和7年6月27日(金)蒔田中学校区の打ち合わせ会が、蒔田中学校校長室にて開催されました。学校からは校長含め4名の先生方の参加、青指から蒔田地区、太田地区、井土ヶ谷地区の3名の参加となりました。

初めに青指から地域での活動の紹介がありました。蒔田中学校からは今「学校・地域コーディネーター」が発足されていて、地域との関わりを深めていこうとの取り組みが行われているとの紹介があり、その一環として防災の観点から地域との連携を図っていったらどうか、との考えを聞かせて頂きました。内容の濃い充実した打ち合わせ会となりました。(門井)



## 編集後記

当たり前前に食べていた「米」が高いです。今まで主食で困ることはないと思っていましたが、このまま手の届かない食材になってしまうのではと考えてしまう位、米の高騰が続いています。毎日「米」のことを考えている自分があることに気づきました。スーパーではまず米の売り場を見えています。今まで知らなかった銘柄もたくさんありました。この際、いろいろな産地の「米」を食べてみようと思っています。新たな発見が楽しみです。(山田)

### 令和7年度下半期、青指行事予定

- 9月20日 青少年指導員研修会(港北区)
- 11月29日 神奈川県青少年指導員大会(湘南地域)
- 12月7日 第45回ボイス・オブ・ユース(青少年の主張) 全市統一行動キャンペーン活動
- 1月18日 南区青少年指導員協議会全員研修会
- 3月15日 横浜市青少年指導員大会

## 編集委員

■ 広報部会長	北永田地区	加藤 春哉
■ 広報部会員	お三の宮地区	岡田 圭司
	太田地区	原 淳一
	太田東部地区	今井 馨太郎
	寿東部地区	小林 大雅
	中村地区	竹尾 博和
	蒔田地区	畔柳 邦彦
	井土ヶ谷地区	門井 由美子
	南永田山王台地区	山田 智久
	永田みなみ台地区	伊東 由和
	六ツ川地区	森田 裕之
	六ツ川大池地区	青木 慶一
	本大岡地区	内松 正幸
	別所地区	松尾 英司
■ 広報部会担当役員	六ツ川大池地区会長	伊東 俊一



編集発行/南区青少年指導員協議会  
事務局/横浜市区南地域振興課内  
TEL 045(341)1238



## 第2回 みなみ桜まつり2025

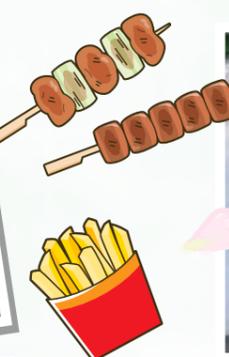
春らしい晴天の蒔田公園で、令和7年3月22日(土)、23日(日)にみなみ桜まつりが開催されました。桜はまだ開花しておらず、少し寂しい様子の中でしたが、暖かい休日ということもあって、メンバー集合時間の11時頃には比較的多くの家族連れの皆様で賑わっていました。

山崎会長の掛け声で、それぞれの持ち場に別れて準備開始。今回は例年同様の焼きそば、焼き鳥にあげパンとフライドポテトの揚げ物に加え、かなり豪華な出店となりました。青指には本職顔負けの職人、が複数いるため、作り手がその技を伝承されており、手際よく、そして美味しく提供するために、まさに料理人の顔になっていました。



14時の販売開始前にもかかわらず、すでにブースの前には長蛇の列ができており、我々も気が引き締められました。購入までに長時間お待たせしていることに申し訳なく思いながらも笑顔で忘れず、自身の役割を全うしながら、チームワークで一生懸命食品を提供していきました。

22日(土)は19時までの開催で、日が暮れると公園の雰囲気も変わり、特に灯がともった、区民の方々の描いた素晴らしい絵どうろうの作品が幻想的でした。来場者も一つひとつじっくりと鑑賞しながら、桜まつりを堪能し帰路についていたようでした。(山田)





## 第2回 みなみ桜まつり2025

つつき



日が変わり23日になりました。この日は5年ぶりに中学生たちにボランティアとして参加してもらいます。青指のメンバーと一緒に活動できるのをとても楽しみにして、この日のために綿密に計画を練ってきました。

集合時間の9時が近づくと青指のブース前に子どもたちが集まってきました。みんなやる気に燃えて引き締まった表情をしています。9時になり山崎会長の挨拶の後、各々担当するブースに移動、そこで青指の大人たちから作業内容や作業手順、事故が起きないように注意事項のレクチャーを受けていよいよ作業開始です。みんな和やかに、かつ真剣な面持ちでブースごとにいろいろな作業に励んでいます。

10時になり祭りが始まるとすぐに各ブース前に長蛇の列ができました。それを見て全員テント内の暑さに負けないくらい、さらに活気づいていきます。特に焼き鳥のブースでは焼き鳥を焼く中学生と青指の姿はまるで弟子と親方の関係に思えるほど風格がありました。

お昼が近づくと青指特製カレーの出番です。ブースの中で順次休憩をとって子どもも大人もカレーライスに舌づみを打ちながら午後の作業に向けてエネルギーチャージをしていました。

15時の販売終了時刻を待たずに完売しました。



(伊東 (由))



## 南区・御殿場ふれあいキャンプ2025 事前練習会



令和7年6月14日(土)18時より、南区役所にて南区・御殿場ふれあいキャンプ2025に向けた事前練習会を行いました。当初は三ツ沢公園青少年野外活動センターにて実践的に行う予定でしたが、あいにくの天気となり急遽、区役所での実施となりました。講師には公益財団法人よこはまユースの大槻繁美氏をお招きし、キャンプファイヤー等を安全に楽しく行うための学びを深めました。

まずは昨年のキャンプ写真を見ながら、子どもたちが持つトーチ棒の角度、火の渡し方やキャンプファイヤーへ火を入れる際の注意点、キャンプファイヤーの組み方など、課題の整理をしました。具体的に、火をもらう前の油が染み込んだトーチ棒は“へそより下に向け持つ”こと、点火後は“斜め前方に上げる”こと、火を渡す際は“同じ高さにて対面で行う”こと等、話がありました。

座学のあとは、実技でキャンプファイヤーの組み方を教わりました。『井桁(いげた)型』という薪を縦横交互に積んでいく組み方と、『ダイヤモンド型』と呼ばれる薪を円錐状の組み方を、併せて組むことがポイントとのことでした。井桁型には火を持続させる、ダイヤモンド型は火をつくる役割を担うとのこと、井桁に組んだ薪には火をつけないことも重要とのことでした。また、安全に行うためには事前に子どもたちへ説明し、練習することがもっとも重要とのことでした。

実技を教わったあとは、キャンプファイヤーの流れを確認し、レクリエーションを盛り上げるアドバイスもいただくことができました。

大槻氏は最後に「地域活動として開催するこのキャンプでは、子どもたちに学校とは違う体験ができる場づくりをして欲しい」と話され練習会は終了しました。この会で学んだことを、ふれあいキャンプで活かすことができましたのは次号で報告させていただきます。

(森田)



## 令和7年度 南区青少年指導員研修会開催



令和7年5月17日(土)13時より、南区役所にて令和7年度 南区青少年指導員協議会研修会を行いました。今回は、青指メンバー47人の参加のもと、南消防署から渡邊係長、宮地係長ほか5名の方々が来られ、「ケガの予防対策」と「応急手当」について講義および実技の指導をして頂きました。

まず、渡邊係長による講義では、傷病者の救急搬送が増加しており、その実態としては一般的なケガによるものも多いため、事前にその危険性を知っていれば、かなり防止できるのではないかとのことです。ケガをしないためには事前準備と安全確認がまずは大事で、とりわけ子どもに対しては安全教育や活動中のみまもりが重要になります。また、情報の共有も大事です。

ケガが発生した場合は、適切な応急手当(止血、やけど、熱中症、骨折、胸骨圧迫等)が必要になり、詳細をお話いただきましたが、横浜市の「家庭防災員研修テキスト」で検索すれば見ることができるとのことです。

講義の後は、4~5人のグループに分かれて、実技指導を受けました。まず、ケガなどで倒れた人を安全な場所に搬送する方法を学びました。担架がなくても毛布一枚で安全に搬送する方法、2~3人による徒手搬送を行う方法などを学びました。心肺停止状態の場合は、直ちに心肺蘇生のために胸骨圧迫(心臓マッサージ)、AEDによる処置を行います。ただ、AEDは必ずしも近くにあるとは限らないので、とにかく救急車が到着するまで(平均9分)、胸骨圧迫をし続けることが何より大事になります。

今回学んだことは、普段の生活の中においても重要なことですが、これからの時期は海や山などで活動することも増えるため、皆が知識として持っていることが必要だと思いました。このことは、青指の活動にも生かして行きたいと思いました。

なお、詳しくはインターネットのサイト(よこはま防災e-パーク)をご覧ください。



よこはま防災 e-パーク

(今井)

## 令和6年度 横浜市青少年指導員大会



令和7年3月9日(日)、関内ホールにて「横浜市青少年指導員大会」が開催されました。主催者として横浜市青少年指導員協議会から辺見会長、横浜市から山中市長にご挨拶いただきました。続く永年勤続者顕彰では、長きにわたり活動された305名に感謝状が贈られました。

### 南区顕彰者(16名)

- 30年顕彰: 保坂 彰一、山崎 直宏、根葉 直行
- 25年顕彰: 増田 厚子、吉川 昌代
- 20年顕彰: 竹内 祐治
- 15年顕彰: 青木 慶一、新井 浩、越中谷 真喜、門井 由美子、加藤 春哉、目黒 明子、若林 雅人
- 10年顕彰: 飯田 富二夫、守屋 雅幸、関口 康治

敬称略



第二部の記念講演では、元神奈川新聞報道部デスクの田崎基氏をお招きし、「青少年の生きづらさと闇バイト」というテーマで講義いただきました。

「トクリユウ(匿名・流動型犯罪組織)」という言葉が浸透しつつありますが、根底にあるのは暴力団対策法などによる反社会組織の資金調達が闇バイトにシフトしていること、貧困や孤独にあえぐ若者がSNS等で応募してしまう構造があると話されていました。

貧富の格差の増大や、ネット環境での不適切なサイトの取り締まりが不十分などの社会構造から、貧困と孤独に対するこれまで以上の支援が必要と感じられました。

(畔柳)